

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年8月27日

施設名	高知県立甫喜ヶ峰森林公園	所管課名	林業振興・環境部 林業環境政策課
-----	--------------	------	---------------------

1 施設の概要

指定管理者名	(社)高知県山林協会	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日 平成21年4月1日～平成24年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町平山		
事業内容	(1) 森林公園での行商、興行、森林環境学習のための立木の伐採等の行為の許可等、森林学習展示館の利用の許可等、許可の取消し等その他の行為又は利用の許可等に関する業務 (2) 森林公園での行商、興行等の行為の許可をした際の利用料金の収受、利用料金の減免、利用料金の還付その他の利用料金の徴収に関する業務 (3) 森林公園の施設、設備、機械器具、立木等の維持管理及び補修に関する業務 (4) 森林公園の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 森林公園の面積:102ha 森林学習展示館:鉄筋コンクリート平屋建、延べ床面積400.0m ² 利用時間:午前9:00から午後4:30まで 休園日:12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金:行商等、興行等 使用面積1m ² 当たり日額20円		
職員体制	常勤職員: 1人 非常勤職員: 3人 合計: 4人		

2 収支の状況

単位:千円

		19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(予算)
収入	県支出金	16,082	16,079	16,455
	使用料・手数料	0	0	120
	その他	116	106	10
	収入計 (a)	16,198	16,185	16,585
支出	事業費	165	135	295
	管理運営費	2,492	2,222	2,970
	人件費	15,030	14,687	13,320
	その他	0		
	支出計 (b)	17,687	17,044	16,585

3 利用状況

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	44,495	46,925	48,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>時期: イベント開催時等 方法: ①森林学習展示館にアンケート用紙を置き、通年実施。②イベント開催時に参加者にアンケート用紙を配布し、イベント終了後回収する。 回答数: ①②で251通 調査結果: 上記①のアンケート結果では、園内がきれいに整備されていて安心して遊べるなど、回答者の92%が森林公園に対して満足しており、②のアンケートでは、イベントについて回答者の40%が初めての参加となっている。毎年内容を変えて行っている夏休みの宿題などについては特に初めての参加者が多く、例年恒例化しているイベントについてはリピーターも増えている傾向も見られる。</p> <p>○ その他</p> <p>イベントの終了後、参加者の意見を踏まえ、今後の課題を整理するなどサービスの向上に努めている。また、来園者からの意見については職員会議で話し合いをし、職員間での情報共有を図り、運営に反映している。 イベント開催時や、学校等が大人数で来園した際には、公園担当以外の本部職員の応援や、利用団体や地元の人たちとの連携を図り、利用者へのサービスの向上に努めるとともに、地域の活性化にも取り組んでいる。</p>		
③その他特記事項	<p>H21年度はキャンプ場等の整備も実施される予定であり、より多くの利用者が来園するよう、より一層の広報に努める必要がある。</p>		

4 平成20年度業務評価

項目	評価できる取組等	改善すべき課題
①適正な管理運営の確保	<p>①ローテーション勤務により職員を適正に配置されており、イベント時等状況に合わせて山林協会本部からの応援体制がとれている。</p> <p>②利用者へ危険に対する注意喚起ができています。</p>	
②利用者サービスの維持向上	<p>①利用者のニーズを踏まえて新たなプログラムを立ち上げ、大人や子どもなど参加者のレベルに合わせたサービスを提供している。</p> <p>②利用者にアンケートを取るなど、ニーズの把握に努めている。</p> <p>③広報については、紙媒体(地元新聞、児童向け情報誌等)やインターネットなどにより広く情報発信している。</p>	
③利用実績	<p>①年間入園者数の46,925人(前年度44,495人)は、山間部に立地する施設であることを考慮すると、施設に見合った人数であり、現状で申し分ないと考えられる。</p> <p>②8月に利用者が5,000人を超えるなど増加しており、イベントが効果的に行われていることがうかがえる。</p>	
④収支の状況	<p>入園料を設定していないなどの施設の性質上、多くの収入を得ることができないのはやむを得ないが、限られた収入の中で適正に業務をこなしている。</p>	
総合評価	<p>A</p> <p>甫喜ヶ峰への配置職員だけで運営するのではなく、山林協会本部の応援体制もできており、組織全体として施設の管理・運営が行われている。また、自主事業において、従来実施していた「植物学校」で、子どもを対象にした新たなプログラムを提案し、利用者から子どもが喜んで参加している等の評価を得るなど、全体的に適正な運営が出来ていると認められる。 県の中央部に位置し、高速道路の利用も可能なことから、県内の環境教育のフィールドはもちろんであるが、四国の森林環境教育のフィールドとしての位置付けも必要ではないか。学校遠足で多く利用されているが、甫喜ヶ峰ならではのプログラムを提案し、単なる遠足から一歩踏み込み、環境教育のフィールドとして活用されることを期待するとともに、新たなプログラムの開発に、外部の団体や個人のアイデアを借りることを考え、より一歩具体化したものを実現してほしい。</p>	

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの